

阪神・淡路大震災 被害状況調査報告書

1995年1月17日に発生した阪神・淡路大震災は、半世紀ぶりに日本において発生した直下型地震で、従来の下水道に関する地震対策指針の根拠とした過去の関東大震災、新潟地震、宮城沖地震の震度を遙かに上回る未曾有のものとなりました。

下水道に関する施設・管渠等の被害調査については、既に関係官庁はじめ、日本土木学会その他各種団体によって行われ、逐次その結果が報告されています。

当協会におきましても、既設工の主な工事について、関係官庁の許可をまって被害調査を実施し、各々当該官庁に立会いあるいは報告を行いました。

被害の状況は一部臨海地区の護岸部分において護岸の破損とともに既設人孔部分に被害が認められましたが、その他の地区ではほとんど被害が認められず、特に甚大な被害のあった一般住宅地区では、地上の被害に比べて著しく対照的な結果でありました。

今回の震災の調査に基づく新しい指針の決定にはなお1年有余を要するものと思われますが、とりあえず、復旧を急ぐもの、特に被害の多かった管渠の端末部、取付管に要求される耐震性について、当協会としても工法に技術的検討を加えることとしております。



日本インシチュフォーム協会

〒100-8071 東京都千代田区大手町2-6-3 TEL03-3270-9910

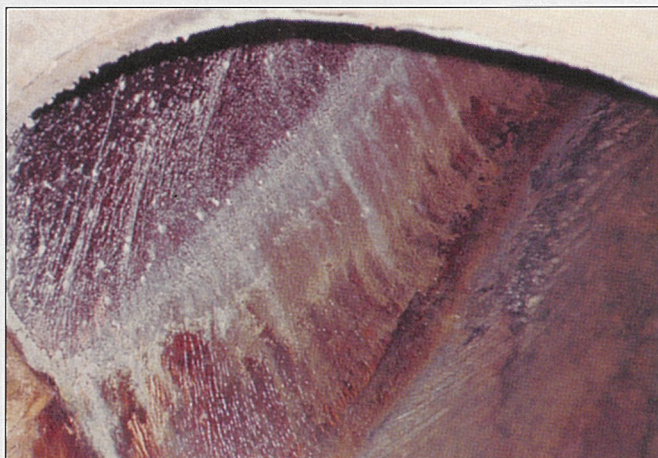
①西宮市内

施工場所 西宮市宮西町7番地先～荒我町1番地先
既設管種 $\phi 1200$ ヒューム管
施工延長 352.6m

ライナーバッグ $\phi 1200 \times$ 厚み15.0mm
施工年月 平成元年11月～平成元年12月
経過日数 6年1ヶ月～6年2ヶ月



管内状況 異常なし



管口状況 異常なし

②芦屋市内

施工場所 芦屋市潮見町地内
既設管種 $\phi 1650$ ヒューム管
施工延長 18.4m

ライナーバッグ $\phi 1650 \times$ 厚み27.0mm
施工年月 平成5年12月
経過日数 1年1ヶ月



管口状況 管端部一部欠落



管口状況 異常なし 人孔横移動

③尼崎市内

施工場所 尼崎市開明町1丁目～中在家町ポンプ場
既設管種 $\phi 800$ ヒューム管 一部ダクタイル鋳鉄管
施工延長 190.2m

ライナーバッグ $\phi 800 \times$ 厚み15.0mm
施工年月 平成6年9月
経過日数 4ヶ月



接続部状況 異常なし



接続部状況 異常なし